国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

WA-5606/23

国立国会図書館

国立国会図書館

（三）
京なる女の本宅に
中村いづる書

（ロ）
情のあらそひ
男ども
はづかしめあひて

（ハ）
金銀を物ともせず
吉八十の
沼のうき男

東京図書館

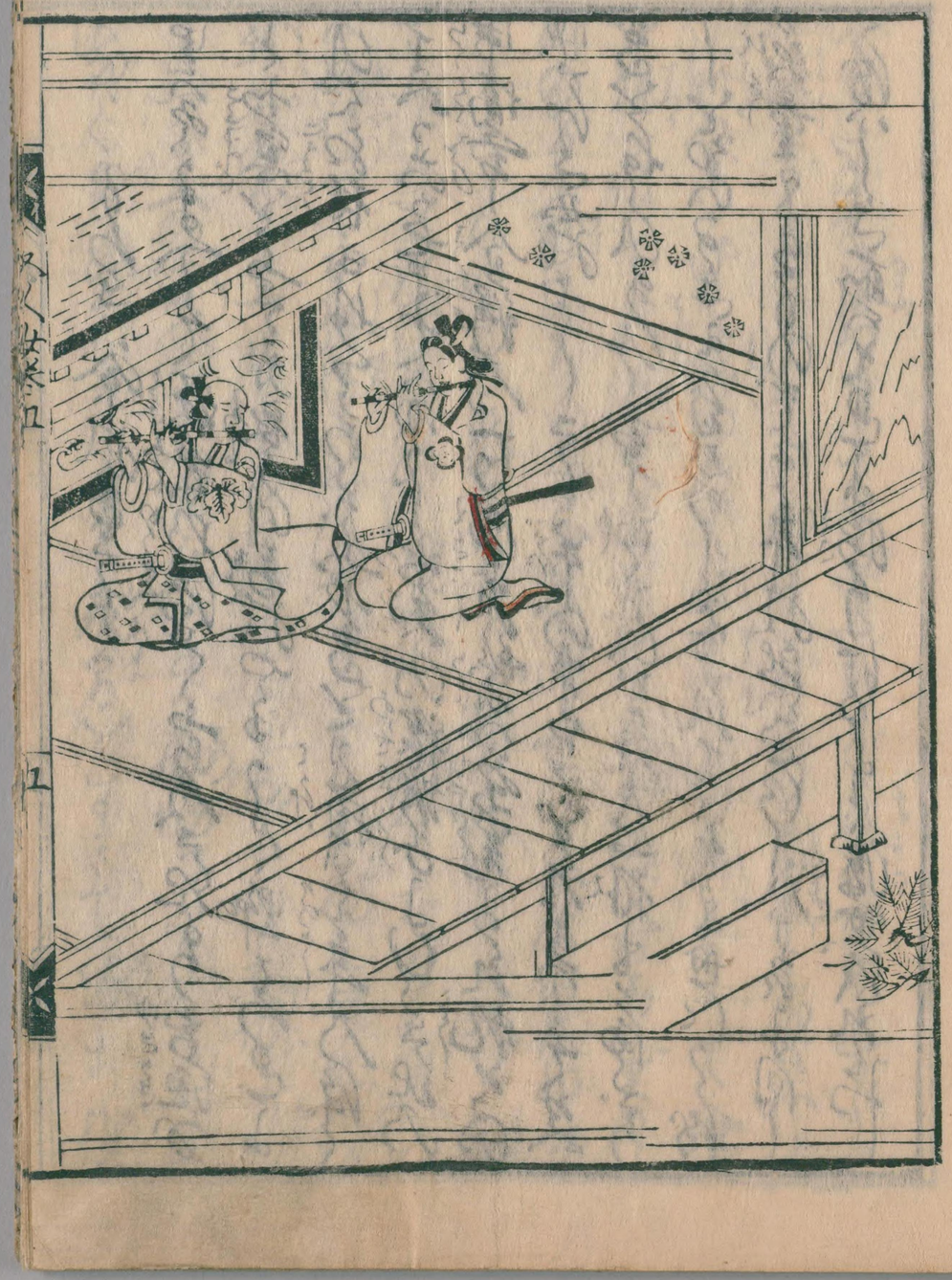
世よ河竹黙阿弥の
連中の狂作とやいはん
なかなか
ものの数や
ならまし
かゝる
会ふ
このゝ男
さびしく
よ
先
風
人
ふ
ものゝ
ふ
ふ
ふ

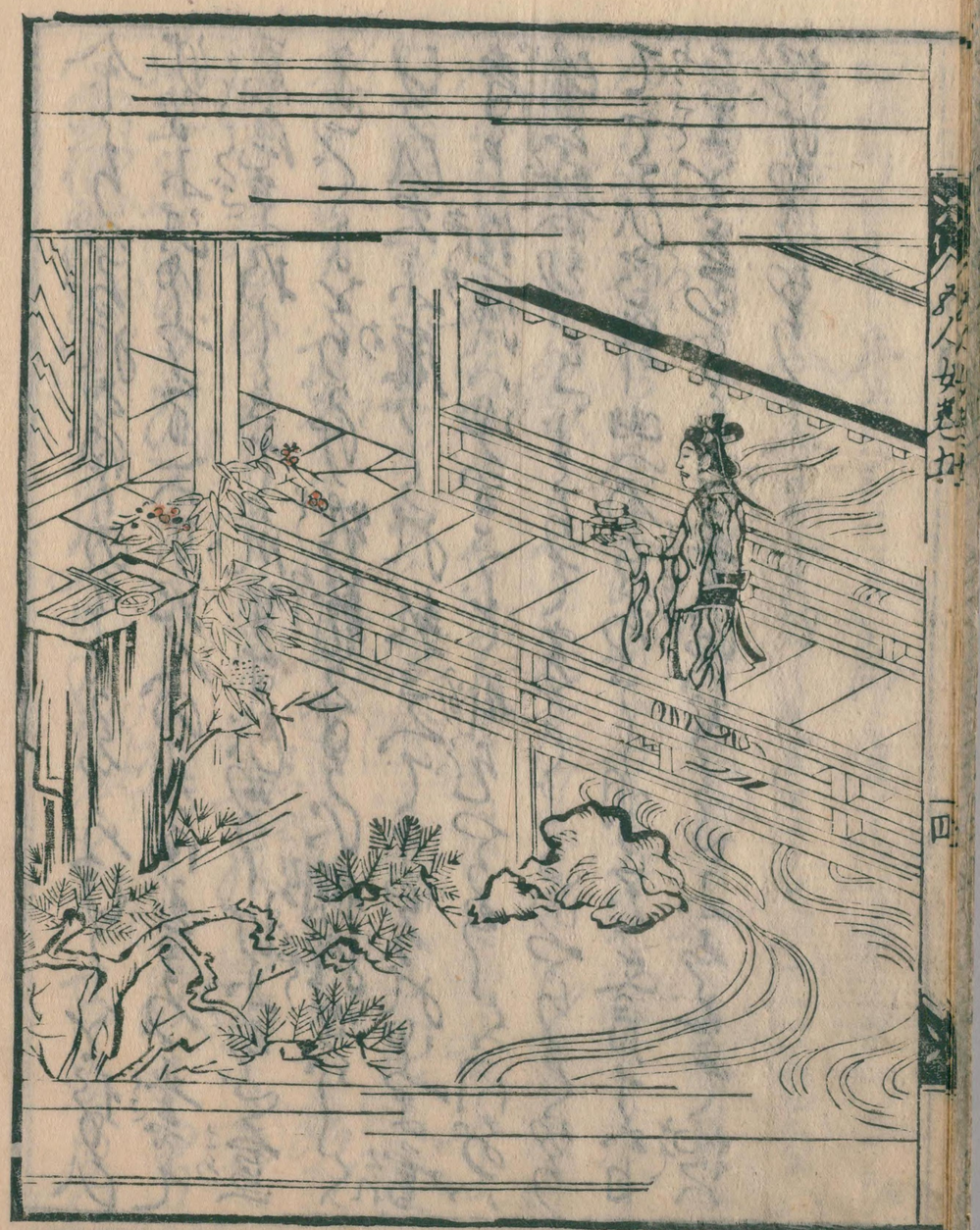
只二人深入之程なかせる少年殿よれこなりつまゝ夜の横
笛さゝはまゝ志めやかに和の音も物よみまそ[illegible]
も[illegible]しかなり寒よりかよふ風は梅がかなりとつき
て振袖に掻くまゝ行のそよぐに霜高さゝぎてとび
こゝ音もかなしうき所あのづらに新なく笛も欲
なりていつまりは情ちくうち雨せてる姿してんよ
く[illegible]し言葉に[illegible]つく果[illegible]て[illegible]せさり
とは[illegible]しさまさりてうき世のなる欲んなきて八十
軒のいつまでもかわらでお髪あまりしとぞ思ふ同し
枕きけなく夜の明かこはなりていつもなく賊まで
八十所力をいつめて起しあらて夜を兼になりしまふと

いつ深い定現にせそんさぶまちかしに夜に流
まふもと背をかぎりなるまゝ行か名物にまゝ
一所事れといつぐ雇用にとうなしくてうりにとん掛
ゆまかりまゝ人あらぬさへ面軟まりろしにまたけなに
いりに面にせうすまでとて[illegible]の
やとうをれかせばすうしうち[illegible]
世定ぶ月ハ人乃命といひ果どを力はまゝ此脉
わかりて体のまゝまゝとなりぬ[illegible]
恋ひし事もあわして男位にぞのあん[illegible]
さぬぐ業あらへかう甲変れく[illegible]
そして八十ひ親りとにしてせられん二親乃なげ

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

すべて求く繋を結し妻れ若死なる陰嚢をとりて
時は良産に命を拾んと我も人も知りけしが閑乃中
にもとや歌といふ物ならし前れ寶に心をうつし
あるは又此朱分別まで息もしまらぬうちより其
後まのせんさくを耳に掛き死人の事をすぐに詠
しきもなどみは一門より淡合しき入縁死のとゝろ
よのりてなじきれまは如かりし我理一色ん乃急に
馬花も人のみなるあぞうし三十あるの意をとけし
なく思ひくの薄白粉髪は和よく油にしてかぐ
語もやらどしどけなく小さくませうへは
云汝乃小袖目ふとてずしてなぜ心にくきぬぞうし

わかしは言語を動じしるゝまき物語の心に髪を切
うき世を野寺に驚して朝の夢をせめて八草乃
うげなる人に手向なんと絶頂庵子の衣裳えちらし
是もいらぬ物なれバてんがいたこうち変にせよといふ心
にハ今すこし袖のちいさきとなりしけり世程おそろし
きものなし何をも當あける人の中にて八重流して
ぬぐしやうさまに世の中に紀りのと後家にそれ多寸
物しゆして男れ世房をお人やこ人こゝろして後よび
むかへてもそがにはなりしそれとは遠ひ深い三人に
若氣ぬらりまであへなきうさめを見て我なるこゝろ
から所山陰に草房を引むまび後の世乃遠ぞう軽

ひ又道りけてやめしハ更に拵揚さうぎりなしこれ
又さつまぐる渡乃町といふ所に瑠璃屋乃行うしが娘
なまんといふ所あるより年乃程十六歳の月をもそ
稱むまつきんぎしもやさしく意乃只中なし人なりひ
掛ざるハなしけ女なし年乃言より源太兵へ男盛を
なづそて救くの又に亂をはやさ人ありしに彼に流れ
いしなるに源太兵へ一生女をうぎりかりそめ其事も
せざるとうなしに明當兄のこゝあく日数をかりぬ所
より縁のいふ所をうしそくなりひの所なり絶病して人の
娘うハとしなどなく正しく乱人とハなしけり源太兵へ娘
をうへけしまもしさうちしにあ時人の娘りなりを又も

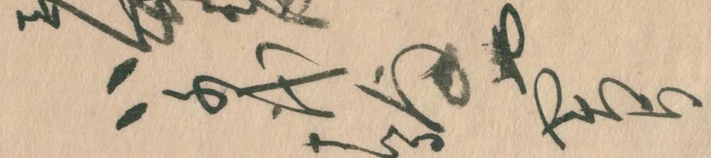
あへぞさうもそハ悟なしいつぞの河辺にはひをはなさ
とあのしこゝる甲変物く情やさ人ハ異源の種うめし
や是非そ也に浮けてて心びけうしこゝをいそでいと思ひ
点を世の別と人くにゆくかつして自ようさ程に切て
中料して衣類も兼ての用ことにやまんまと名前にハ
ゆそて思びくけに意の山へそめしより根岩の箱を打
挿ひ此ハ彼女月偽り其女ところにしてゐるぐるそ人
乃中せし里ぐるまなり杉村に入まへ後にわらをなす
思ぐこゝありて行しの方に洞ぬくにも先にまづむ
うり杉木にあまりなり夜をとりこゝ思りなしでな
げまして楊もおすぐ中ハ淑のもやさ浜もぐけて

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

今朝も持あまりて遣忠
以ハ一年ゐ衣をぬけばむしに
よりて山中の梅屋うつくと積雪の正月をやめて
二月にもじめつたかづし海の汗信よむしれよしを乃
人を軽くもずかなる拔びさしをうりて志のび給ひ
何か御世のたよりもなく深雪へ親の御居ふもりて見し
よ人もまに賣かりて面紙屋せし夫祥の記ごき絶
て今ハ朝日ふ味噌のうんだんかけしなど口惜くなが見
すぎて我見しらぬ男にたよりて此あたりにすゐれし
深雪つと以ハ深人をたづねうふ世ハ一生浴物を
よゐしき人なるがこゝ子に深雪へと以ハ深雪にはまゝ

なき英男人なる見ゑ好八年はしこまゐかそこ黄め
をかくなりてわたる浮世に親ハあさ御しくそ男ハ恋
より拵物をよなりけるとゝ世にハかゝ深うつけもを
せのかかすへく語りくにそいつめづ浮しを一目をいひ
事と以ハだこそ具音にあるゆゑとたづしく細笠ふかく
とそふけやりく宿ふ立御り夕ハ灯もまだ朝の剣
木殺くさりとへかすしく人の恋もぬ事も世のわか
時の物ぞうし日し拵ハなるべのまでも拵くつづき云
繁もかく明まだ三月三日童子ゑ餅くだろかど
鶴あわせさゐぐれ拵具あるしに我宿のさびしさ
神の打変ハあまでど鶴もかし拵の紀をしまりて酒

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用

乙京
5
246

貞享三龍集丙寅歲仲春上旬日

小御堂前
摂只　書肆　森田庄太郎板

国立国会図書館　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『好色五人女 5巻』 請求記号 WA9-6

ガラス使用